

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ 気象災害とカーボンハーフ

①表題





②ねらい

- ・地球温暖化による気象災害について知り、その原因や環境への影響について理解する。
- ・東京都の災害への備え「東京マイ・タイムライン」について知る。
- ・東京都の温室効果ガス削減の取組「カーボンハーフ」について、実践しようとする態度を育成する。

③本教材で扱う 主な内容

地球温暖化の影響による気象災害（大雨・台風）、東京マイ・タイムライン、気象災害による社会への影響、カーボンハーフ、HTT

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示用教材①を見て、近年、地球温暖化の影響による気象災害が増えていることを知る。 ○ 掲示用教材①の写真を見て、気付いたことを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球温暖化の影響により、気象災害（大雨・台風）の発生が1.5倍に増えていることを説明する。 ○ 気付いたことを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲示用教材① ◆ ワークシート①
<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示用教材②を見て、災害への備えについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都による災害に備えるためのキット「東京マイ・タイムライン」を参照し、その活用法について知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート② ■ 「東京マイ・タイムライン」 【東京都総務局】 
<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示用教材③を見て、気象災害のもたらす影響について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真を基に、わたしたちの生活にどのような影響があるのかについて考えさせ、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲示用教材③
<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示用教材④を見て、カーボンハーフについて理解する。 ○ 掲示用教材④を見て、自分たちにできるカーボンハーフの取組について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地球温暖化を食い止め、気象災害を減らすためにはカーボンハーフの取組が不可欠であることを伝える。 ○ 地球温暖化による気象災害を減らすために、自分たちの生活の中で今すぐできるカーボンハーフの取組について話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲示用教材④ ◆ ワークシート③ ■ 【環境学習動画】みんなが進めよう！HTT第1回H「へらす」編」【東京都環境局】 

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



令和4年度 第3号 小学校中学年版

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
気象災害とカーボンハーフ

年 組 名前

① 「地球温暖化のせいによる気象災害」の写真を見て、気付いたことを話し合しましょう。



② 気象災害が起きると、わたしたちの生活にどのようなえいきょうが出るのか、考えましょう。



③ 自分でできるカーボンハーフの取り組みを考えましょう。

